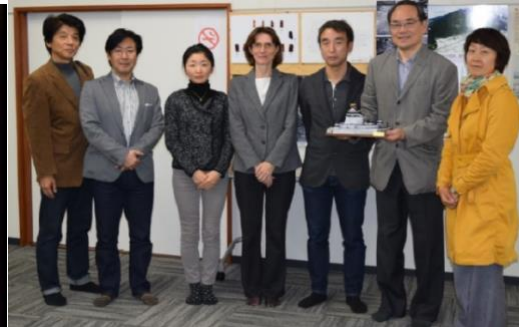


# 会報 新安土日記第4号

NPO 法人安土城再建を夢見る会  
平成 30 年 12 月 7 日

## 安土・近江八幡まちづくりシンポジウム開催しました



10月14日に近江八幡図書館にて「安土城再建から日本を元気にしよう！」をテーマにシンポジウムを開催しました。冒頭に尾崎理事長が安土城天主で信長が天下統一を祈願するために踊ったとされる幸若舞敦盛のパフォーマンスした後、三日月知事が「夢のある安土城復元プロジェクトを本格的に進めることにしました。そのために、当NPOや地元、国や市、世界イエズス会など皆様の力と知恵を集めてほしい！」と復元への熱い想いを語られました。更に、二之湯参議院議員からは「これからは文化財も守るから積極的に活用していくように今年7月に文化財保護法の内容が大幅改定された。自分も関わったこの法律は来年4月から施行されるが、安土城再建には地元の団体や市民・県民が主役となって頑張ってもらいたい。」と背中を押していただきました。

滋賀県教育員会の仲川主幹からは「法律の改定により、文化財の管理団体が市となるので近江八幡市が主体となってやってください。協力する団体（NPO含む）は市が指定でき、その団体には国から補助金もでる。」とのことでした。これを受けて小西市長から「NPO法人安土城再建を夢見る会の調査した天守指図の話や内藤案は妥当性が高い。私は国会議員時代にNHKや歴史家などと付き合ってきたが、自分に都合の良い情報を発信するだけで信用できないことは知っており、論理的で納得できる。また、市が管理団体で権限ももらえるのなら、安土城再建を夢見る会を指定してもいい。」と述べられていました。皆さんから前向きな意見をいただき、当シンポジウムに一定の成果があったと感じました。地元の盛り上げがこれからの課題となってきます。

## 杉本博司と探す「安土城図屏風 探索PJT」シンポジウムへの参加

11月18日の表記イベントに6名の会員が参加しました。著名な写真家の杉本博司氏と安土町時代の屏風絵探索プロジェクトに関わった方々（若桑みどりさんのグループ：パオラ、新保、太田）が現地調査をされており、その状況を報告されていました。とりわけ太田さんは現地に住んで緻密な調査をされており、発見が期待できそうです。当会もバチカンの屏風絵調査署名を集めており、寄付させていただきました。夢の実現に向け期待できます！なお、会場の西の湖すてーしょんに当会の展示として入会ビラと安土城の内藤案プラモデルを設置していただき活動拠点となりました。沢山の安土城資料が展示されていますので、地元の皆さん一度お越しくださいね！

## BIWAKO ビエンナーレ2018への参加

当会の尾崎理事長とビエンナーレ総合プロデューサー中田洋子さんとの話し合いでビエンナーレに出展（まちや倶楽部）しました。安土城や幸若舞を紹介した動画を会員の川崎さんをお願いし

て作っていただきました。上手く編集できており、一緒に活動できて先方にも喜んでいただきました。中田さん次回はもっとアートな作品を展示させていただきます。